

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度	平成 24 年度
--------	----------

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	医師招聘対策事業							
担当課係名	企画政策	課	係	作成者	能美 正俊			
総合計画での位置づけ	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち			総合計画のページ			
	基本計画	地域医療、救急医療体制の整備						
	主要施策	医療を再生し福祉を充実します。 医師確保事業						
予算費目	一般	会計	2 款	総務費	1 項	総務管理費	6 目	企画費
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規/継続の区分		継続			
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理							
根拠法令等								
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務							
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営（一部民間委託） <input type="checkbox"/> 民間委託（全部） <input type="checkbox"/> 補助							

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市立病院の医師等確保対策
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	病院事業に従事する医師等医療スタッフの充足を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	病院事業に従事する医師等医療スタッフの招聘活動を推進し、関係病院や関連機関等を訪問する。協力型研修施設の田沢湖病院に、神奈川県けいゆう病院から研修医の受入れのため、住宅を借り上げる。

【事務事業の推移】

		項 目		単位	23年度実績		24年度実績		
					23年度実績	24年度実績	23年度実績	24年度実績	
効果	活動指標	研修医の受入れ	目標	人	3	3	3	3	
			実績	人	3	3	3	3	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	医療スタッフ招聘数	目標	人	6	6	6	6	
			実績	人	3	3	3	3	
			達成度	%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		23年度決算額(千円)		24年度決算額(千円)		
	事業費（人件費を除く）(A)				700	761			
	人 件 費 (B)		—		1,696	1,657			
	職 員 数		—		0.20	0.20			
	職 員 平 均 人 件 費		—		8,479	8,286			
	(A) + (B) 投下コスト		—		2,396	2,418			
	財源内訳	国 庫 支 出 金				0	0		
		県 支 出 金				300	0		
		地 方 債				0	0		
		そ の 他				0	0		
		一 般 財 源				2,096	2,418		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		798,667	806,000		
		市民1人当たりのコスト(円)		—		81	82		

【事務事業の今までの成果】

市長（病院開設者）、病院事業管理者を中心に各関係機関に働きかけを行なった結果、平成24年7月より八千代医療センター（千葉県）から小児科医師1名（当初3ヶ月、平成25年1月より4ヶ月交代）の派遣をもらう。県職員医師を平成24年度2名、平成25年度3名の派遣を受けることが出来た。横浜けいゆう病院からの研修医受入れについては、平成23年度、24年度とも3名ずつを受け入れ、平成25年度も4名の受け入れを予定。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	県では、平成24年11月に「医師不足・偏在改善計画」を策定。各二次医療圏の医師は、平成37年度には充足する見通し。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	医療スタッフの不足による医療サービスの低下についての苦情、要望等が多く出されている。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
C 2	A 現状のまま継続（実施）	医療スタッフの招聘については、必要性、妥当性については十分に認められるが、有効性、効率性については満足はいく成果が上げられていないため、C2判定と判断した。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）
今後も、市長（病院開設者）、病院事業管理者を中心に、関係病院、関連機関等の訪問を続け、1人でも多くの医師の招聘につなげるよう活動を推進していく。 研修医の受入れについても、積極的に進め、またこの地域に来て勤務してもらえよう働きかけを進めていく。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
B 2	医療スタッフの招聘については必要性、妥当性については認められるが、有効性、効率性については満足はいくような成果をあげるべく、手法を検討するべきと考えます。

